令和２年度広島県特別支援学校教育研究会アンケート結果

回答数：172（R3.2.26現在）　※全会員1,153名　会員中15％が回答

１　次の内容は日々の指導に活用できますか。該当の欄に〇を付けてください。

（必須・単一回答）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 是非活用したい | 活用したい | あまり活用できない | 全く活用できない |
| 研究発表 | 39 | 120 | 13 | 0 |
| 研究報告 | 34 | 121 | 17 | 0 |
| ポスター発表 | 33 | 126 | 13 | 0 |

「研究発表」について，活用したい内容や，参考になった内容，活用しにくい理由などを御記入ください。（任意回答）

|  |
| --- |
| ＜広島中央特別支援学校の取組＞  「視覚障害児に対する学校図書館教育の充実」  ・　環境整備例が参考になった。（４）  ・　学校図書館の授業での活用が参考になった。（３）  ・　広島中央特別支援学校高等部の読書活動は是非活用していきたい。（２）  ・　読書活動を充実させる取組については，聴覚障害のある子供についても十分に整備していく必要があることなので，とても参考になった。  ・　図書館の利用について，本を活用していくことが重要だと感じた。児童生徒の興味のある図書をいれるのはもちろん，図書館の雰囲気を変化させることによって，子供の意欲を高めたり，居心地のよい場所にできたりすると分かった。図書コーナーだけでなく，教室や，普段過ごす場所においても集中しやすい空間づくり等をしていかなくてはならないと感じた。   * （自校では）因島図書館が訪問してくるので，自分で読みたいものを探して，自分で   めくってみたり読み聞かせてあげたりすることはとても重要だと思う。  ・　学校図書館の取組で，児童が読み聞かせをする活動を活用したいと感じた。  ・　読書活動をペーパーで学ぶよさがあったり，学びが深まったりするのではないか，という気がした。  　読書意欲・利用意欲の向上のための図書資料の整備が参考になった。  ＜庄原特別支援学校＞  ・　小グループ協議の活用，共有，協働を生かした取組」。（７）  ・　取組当初から話し合いのテーマが決まっているのではなく，教育課程についてのグループ協議での意見から「育てたい子ども像」を話し合おうという方向に進んでいくのは良いと思った。（４）  ・　小グループでの活動は，卒業後の生活を見据えた活動が生きた学習となっていると感じた。  ・　グループ協議を児童同士でしたことがなかったため，とても参考になった。  ・　庄原特支の小グループで段階に分けて話し合い，結果を用いて全体で検討するやり方がとても分かりやすく児童生徒に明確に示しやすいシステムであると感じた。一貫性のある教育活動を進めることで，担当生徒が変わっても実態に応じた対応ができると考える。  ・　庄原特別支援学校の，教育課程に関する取組において，小グループで発散した後，観点を絞って考えてまとめていくという方法が参考になった。教育課程はとても幅広いものであるが，このようにすることで，軸がぶれることなく全員で考えることができるのだと思った。  ・　焦点化指導案の作成と授業検討と事後授業の流れが参考になった。  ・　学部の実態に即した方法で研究されていること，本や友だちとの対話を通して深く学ぶことができる点が参　庄原特支の教育課程の取組の中で，地域性というワードが出てきたが，本校ではあまり意識されていない視点だったので参考になった。  ・　働き方改革やコロナ禍により，教員間でのやりとりが減っている。小グループ協議の活用は，今後必要だと思った。  ・　庄原特別支援学校のコロナ禍での児童への対応。  ・　学びの質の向上を狙うことは共通の課題と感じており，そのためには目指す子供像の明確化も必要であると感じることができた。  ＜広島北特別支援学校＞  ・　「ストーリー性のある単元・授業づくりの在り方」について，幼児児童生徒の主体的，対話的で深い学びを実践されており，魅力ある実践であると感じた。（22）  ・　広北の「ストーリー性のある単元・授業づくりの在り方」は研究テーマが分かりやすく，授業改善につながるものだった。試案によって取り組みが具体化されているので，大変参考になった。  ・　主体的，対話的で深い学びを目指す授業づくりにおいて，ストーリー性のある単元，授業づくりは有効であると思った。  ・　学習評価の充実には，単元開発が重要と聞くが，広北の研究により，よい視点を得ることができる。  ＜広島西特別支援学校＞  ・　「やる気」を引き出す工夫が参考になった。（２）  ・　実態差が大きいところはあるが，西特支のような将来像を見据えた活動を取り入れたい。  ・　児童が興味をもつ教材の工夫が参考になった  ＜全体＞  ・　児童生徒の主体的な学びについての取組が参考になった。（５）  ・　授業づくり，単元づくり，教材作成の参考になった。（５）  ・　教育課程別に，コロナ禍における４校の研究の工夫等を知ることができた。（３）  ・　研究発表について，前年度までの取組と今年度の取組を比較することで，変容が明確に示され，今年度どのような研究に取り組んだのかが分かりやすかった。（２）  ・　他校の現状と課題，それに係る研究のテーマ設定についてとても参考になりまし  た。（２）  ・　自分と違う校種では，参考にしたいとは思っても，難しいところもある。  ・　内容が充実していると感じた。どの発表も，授業に生かせる内容であったので，今後活用したい。（２）  ・　新学習指導要領について学ぶことができ，参考になった。  ・　各校がそれぞれ学校の特色活かして研究に取り組んでおられる姿勢が参考になった。  ・　分掌や学部を超えた取組が参考になりました。  ・　授業研究の方法を今後活用してみたい。  ・　学習の必然性を追求する姿勢を学ぶことができた。  ・　児童生徒が主体的に学ぶ姿が見える評価方法について。  ・　他の障害種の児童生徒への取組や支援の仕方について参考にしたいと思った。  ・　所属校の研究課題を改めて日々の実践に活用したい。  ・　取組の内容は，よく分かったが，細かい児童生徒の実態と課題の中で，どのように苦労され取り組まれたか，また言葉に表せないよかったこと等，聞いてみたい。  【あまり活用できない】  ・　資料だけでは分かりにくかった。（３）  ・　自身の課題に即していなかった。  ・　改めて学習環境の整備が幼児児童生徒の意欲へとつながっていくことを感じたが，同時に，特性に応じた環境づくりは，予算的な解決が必要であると感じた。  ・　様式が統一されておらず，分かりにくい。 |

「研修報告」について，活用したい内容や，参考となった内容，活用しにくい理由などを御記入ください。（任意回答）

|  |
| --- |
| 【是非活用したい・活用したい】  【県立広島特別支援学校　高牟禮　龍 教諭の研修報告】  ・　肢体不自由のある生徒の主体性を引き出すには，言語活動の充実を図る指導が重要だということが参考になりました。（５）  ・　肢体不自由児生徒の主体性を引き出すために，展開を構造化すること，予想場面を取り入れた話し合い活動を設定する等の工夫をしたことで見通しがもてることはとても参考になる。単元の展開をしっかり把握しておく必要があると感じた。（４）  ・　ＩＣＴの活用について参考になった。（２）  ・　「予想場面」，「展開の構造化」，「言語活動の充実」。  ・　「肢体不自由のある生徒の主体的な学びを引き出す授業づくり」で，授業のユニバーサルデザイン化モデルで授業展開の方法の工夫が書いてあり，教科は異なるが準ずる教育課程の指導を行っているので参考になった。  ・　肢体不自由と知的障害の各学校に所属する２名の受講者の研究の成果と課題を知ることができた。  ・　展開の構造化に視点を当てた授業の工夫やユニバーサルデザイン化モデル  ・　授業のＵＤモデルの考えを取り入れた授業づくり（4）  ・　広島特別支援学校・高牟禮先生の報告にある言語活動の充実を図る指導の工夫は，肢体不自由児のみならず，知的障害児教育においても重要な観点であると思う。  ・　授業づくりに関して，言語活動の充実を図る指導の工夫で，特に展開の構造化，授業のユニバーサルデザイン化モデルが参考になりました。  ・　研究を基に，適切な「問い」を設定することを意識して授業づくりをしていこうと思った。  ・　肢体不自由があっても，取組方次第で主体的な学びを引き出すことができるという結論が励みになります。  ・　思考力・判断力・表現力を付けていくための指導の工夫が参考になった。  【福山北特別支援学校　柹木　はるか 教諭の研修報告】  ・　「抽象表現に関する学習プログラムの活用」例が参考になった。（17）  ・　「抽象表現に関する指導ブック」については，美術だけではなく，聴覚障害のある子供の学校にも必要な視点をいただいたと思います。  ・　福山北特別支援学校の「抽象表現に関する指導ブック」が，主観的な評価になりやすい点の改善の参考になると感じた。  ・　美術の指導に関しては，とても興味深かった。図工の指導をする際に，このアイテムでいいだろうと提供したが，思ったより使いこなせなかったりしたことがあった。そのためどのような方法で色塗り等をさせたら，本人たちにとってやりやすい「塗る」という行為に集中して行えるのか知りたいと感じた。  ・　教科の見方・考え方を明確にした取組であった。研究の仕方も参考になった。  ・　現場の教員が実感している課題や困難さに対してアプローチされた研修報告であったと感じた。  ・　二つの研修報告ともに，現在学校現場で求められている内容であり，大変参考になった。特に知的障害の美術科における学習評価については，大変参考になった。  ・　授業への全員参加を促すだけでなく，全員理解までも取り組もうとしているところに本気度を感じることができました。児童生徒のスタートラインを合わせていくためにもどのような手立てが必要であるかを考えるきっかけとなりました。  ・　福山北特支の知的障害のある生徒が創造的に発想し表す力を高める美術科指導の工夫を読み，知的障害のある児童生徒の表現方法としてとても有効であると感じた。絵を描くことや楽器で音を出すことは言語での表出が難しい児童生徒でも平等に表現できる手立ての一つであるが，再現描写ではなく抽象表現を行わせることで，創造的に発想し表すことができるというところが非常に興味深いと感じた。  ・　知的障害のある生徒が創造的に発想し表す力を高める美術科指導の工夫で，絵を描くことのイメージが難しい生徒に対し興味関心のある題材を選ぶこと，目標が達成しやすい活動から始めることが大切だと分かった。  ・　福山北特支の美術科指導。美術科の指導・評価は客観的に行うことは難しいので参考にしたい。  ・　美術の授業は悩んでいるので，実践の写真等を見てみたかったです。  ・　絵を描くという領域に絞って研究をされたこと，特に技能教科と呼ばれる美術科の指導ブックのようなマニュアルがあると，苦手な教員にとってはありがたい。有効性をさらに高めていただきたい。  　知的障害のある子供にとって，抽象的な表現を表すのは難しく，教師としても，個人の感性もあり，指導するのが難しい領域です。一つの指導方法として，抽象表現に関する指導ブックを参考に，授業をしてみたいと思いました。  ・　福山北特別支援学校の抽象表現の理論は大変参考になった。是非活用していきたい。  ・　創造的に発想し表す力については私自身も課題を感じているので，参考にしてみたい。  ・　知的障害のある生徒に対し，創造性や抽象的表現をいかに指導していくか。子供が感じたことを自分の言葉で引き出すときの発問や言葉掛けは大変留意すべきことだと感じた。  （共通）  ・　２ページという短い文章ではあるが，密度の濃い凝縮されている内容に感じた。もっと内容を，深く掘り下げて聞いてみたいと思った。  ・　このような素晴らしい実践を行っていきたいと感じた。日々の業務で多くの時間を当てることは難しいが，実践していきたい。  ・　忘れている内容を確認し直すきっかけとなった。  ・　本校の取組があり，取組を手に取って読めたので確認できたところがあった。  ・　実際に指導をされている場面を見ることができたらいいなと思いました。また，どちらの発表も評価の方法を詳しく知りたいとも思いました。  ・　全体的に参考になった。  ・　研修報告でどのような意図で授業を作り上げたのかを知ることができた。  ・　研修報告は具体例や質疑応答があると更に深まると思った。紙面の報告では多少物足りなさを感じた。（今年度の状況では仕方ないことだが。）  ・　研究の方法，評価などが大変参考になりました。  ・　ＰＤＣＡサイクルで授業を進めることで成果が上がることが分かった。  ・　生徒がこれまでの経験を基に，新しいものを作り出すことができるような指導・支援について。  ・　深い学び，探求的な学びのある授業づくりは，教師の問いが重要であるため，高牟禮教諭の研究は授業構成を再考するうえでも参考にしやすい。  【あまり活用できない】  ・　資料だけでは分かりにくかった。（２）  ・　研修内容は興味深かったが，対象の児童生徒が担当する児童と実態差が大きく活用が難しい。（２）  ・　就労支援業務との関連が少ないため。  ・　活用まではできないかもしれないが，参考になった。  ・　エビデンスが少なく，具体性に欠ける。 |

「ポスター発表」について，活用したい内容や，参考となった内容，活用しにくい理由などを御記入ください。（任意回答）

|  |
| --- |
| 【是非活用したい】  ・　生徒実態が似た学校の発表はとても参考になる。  ・　福山特支の国語，算数，数学の導入のための段階表の枠組みが参考になる。  ・　各校の教育課程や指導内容など，新しいアイデアをいただきました。  ・　障害に応じたＩＣＴの活用と指導・工夫が参考になりました。  ・　三原特別支援学校の「学びあいの場」の進め方は参考にしたい。  ・　福山特支「重度重複障害児のアセスメントチェックリスト。  ・　言葉の力を育むための授業づくり。  ・　各校で取り組んでいる内容が，コンパクトにまとめられていて，とても分かりやすかったです。  ・　呉南特支知的障害部門の授業評価シートは「児童生徒の学習の様子について段階的に評価する」とあったので，より詳しく見たいと興味をもった。  ・　重複障害児の教育課程における教科の導入。  ・　学びあいの場では第三者からの意見をもらうことで，自分では気づけなかった子供の心の動きを考えることができると分かりました。  ・　しまなみ分校では，ｉＰａｄを児童生徒がしっかり使いこなしていることが分かった。利用時間や用途についてのルールを設定する等モラル教育についてもしっかり考えられていると感じた。  ・　児童の得意を生かしたキャリア教育について。  ・　ポスター発表は，写真等が多く使用されておりとても分かりやすかった。一枚のスライドで内容が簡潔にまとめられていることから，内容の理解もしやすくなるのではと感じた。教室環境は上記に記載したように，その児童生徒個人個人に合わせた場の設定や，環境整備が必要だと感じた。また，ＩＣＴ機器を用いた授業づくりでは，今現在もＩＣＴ機器を使用し授業を展開しているが，パソコン，テレビ以外に大きなスクリーンを使用したり，タブレットを用いたりすることで，児童生徒の興味・関心を引き出すきっかけをつくることができるのではないかと感じた。  ・　適切な実態把握，目標設定の重要さを，改めて感じました。  ・　仮説・検証型の取組は説得力があり，分かりやすい。  ・　各学校の実践について  ・　学習評価や児童生徒のキャリア発達を促す取組について，大変参考になった。  ・　どの学校も１枚に分かりやすくまとめられていて参考になった。  ・　各学校の取組が進んでいることが良く分かった。  ・　三原特別支援学校の"聴きあう"授業研究をぜひ授業の協議で取り入れてみたいと思いました。  ・　黒瀬特別支援学校のＩＣＴを活用した授業づくり。  ・　多くの学校の研究の取組をダイジェスト版で知ることができ，大変有意義なポスター発表でした。どれも活用したい内容です。広島南特別支援学校の教師の専門性向上チェックリスト，三原特別支援学校の教師の見方を豊かにする「学び合いの場」，沼隈特別支援学校の研究構想図」，呉南特別支援学校の「授業交流週間」，広島市立広島特別支援学校の「でじまっ子チャート」が特に参考になりました。  ・　三原特支の「学びあいの場」が参考になりました。  ・　尾道の発表では，ＩＣＴ活用の教師，児童の二つの視点が示され，活用しやすいと感じた。  ・　ＩＣＴの活用について，これから効果的な活用が求められるので，とても参考になりました。  【活用したい】  ・　キャリア発達を促す授業づくりについての考察が参考になった。  ・　各校の研究テーマに沿った取組を見ることができてよかったです。特にＩＣＴに関係するところはどんなことをしているのだろう？と楽しく読むことができました。  ・　ＩＣＴの活用例  ・　各学校の取組がダイジェスト的に見えるようになっているので。  ・　ＩＣＴ活用。興味関心を高めさせる，課題をつかませる，分かりやすく説明するなど。  ・　細かい字が多く，少し見づらかったものの今後の参考になる内容だった。  ・　書字に至るまでの学習レディネスについて参考になった。  ・　呉特別支援学校のポスターは分かりやすくまとめてある。  ・　ＩＣＴ活用と地域の教育資源を活用した学習の取組に関するポスター発表が参考になりました。  ・　ポスターの提示の仕方（見る側に興味をもたせる工夫）について参考になった。  ・　他学部の内容が学べた。  ・　主体的な学びについて。  ・　しまなみ分校の高等部のタブレットの活用方法が参考になった。  ・　カリマネ検討委員会。授業研究の仕方（工夫）。  ・　広島特支のカリキュラム・マネジメントの取組が参考になった。  ・　重複障害のある児童生徒の国語・算数数学の教科の導入について。  ・　三原特別支援学校：教師の「子供の見方」を豊かにする学びあい。  ・　チームの強みを生かした授業研究。  ・　「得意を生かす」「子供の見方を豊かに」等，授業づくりに必要であるが情緒的に扱われがちであった観点を，具体化して分析する手法として授業研究に活用してみたい。  ・　自ら考えて行動できる取組を参考にしてみたいです。  ・　参考となった内容は，キャリア発達を促す授業づくり。  ・　ＩＣＴの活用についての取組があり，参考になりました。  ・　広島特別支援学校の「でじまっ子チャート」が, 主体的・対話的・深い学びについて自校で整理されていて, わかりやすかった。  ・　でじまっ子チャートがあることで，指導者が「主体的」「対話的」「深い学び」とはどういう姿なのかが明確になり全員で共有しやすい方法だと感じました。  ・　ＩＣＴを活用する事例が特に参考になりました。  ・　各校の取組内容がよく分かった。（２）  ・　色文字や小さい字が読みにくかった。  ・　多くが授業づくりの視点から授業改善をテーマに扱っている中，福山特支の重度障害児の教科の導入の研究が少し異質な印象を受け，大変参考になった。  ・　生徒のＩＣＴ活用の実践例。  ・　聴覚障害教育専門性向上チェックリスト。  ・　動画や写真を用いることで，視線を外さずに集中して話を聞きやすくなるというのはぜひ活用したい。  ・　重複障害児の教育課程における教科の導入。  ・　尾道特支しまなみ分校のポスターが，簡潔にまとまっていて分かりやすかった。  ・　チャレンジし続ける児童生徒を育てるために，児童生徒への内面へのアプローチに目がいきがちですが，校内での「安全・安心な学校づくり」は確かに必要不可欠なことだと思い，その視点をもつべきだと思いました。  ・　今後重要となってくるＩＣＴの活用についての取組が参考になった。  ・　各学校の取組について，内容の共有は図れたが，ページのレイアウトについて，見開き１ページに２校分の発表があるなど，どこからどこまでが１校の発表なのかどうかが見て分かりづらいページがあった。  ・　三原特別支援学校の「学びあいの場」の進め方について参考になりました。  ・　ＩＣＴを活用した授業づくりの探究。  ・　呉特別支援学校江能分級の「自ら気付き，考え行動できる授業づくり」の内容が特に参考になった。  ・　同じ障害種の取組を知ることができ，自校でも活用できると感じた。  ・　三原特別支援学校の教師の「子供の見方」を豊かにする学びあい。  ・　重複障害児の教育課程における教科の導入。  ・　生徒の評価に関する，チーム研究の事例。(三原）  ・　県立特別支援学校のＩＩＣＥモデルの理論は大変興味深かった。  ・　障害に応じたＩＣＴの活用について，参考にしたいです。  ・　広島南特別支援学校のチェックリストが参考になりました。  ・　専門性チェックリストは，チェックだけでなく，獲得していきたい力になり，人材育成の面で活用できると感じています。  ・　環境・スケジュールの構造化の取組やＩＣＴ活用した授業づくりを活用したい。  ・　広島県立尾道特別支援学校しまなみ分校：小中高の学校全体を通した連続性のある学びはとてもよいなと思った。同じ学校内で指導の方向性を合わせ，小学部段階から高等部への全体で共有する。このことについてはＩＣＴのみならず，育てたい生徒像などについてもいかせることのできる内容だと感じた。  ・　各校の状況が分かり，興味深かった。  ・　「重複障害児の教育課程における教科（国語・算数数学）の導入」で，認知発達初期段階の国語・算数（数学）の学びの内容の構築について，福山特支が学習指導表を作成されていることが分かった。出来上がったものを参考にさせてもらいたい。  ・　ＩＩＣＥモデルを基にした授業づくりの工夫について。  ・　詳しく書かれているところ，簡単に概要だけ書かれているところ，いろいろで，ちょっと分かりづらかったです。  ・　ＩＣＴの使い方は，動画の速度を遅くするなどして，教材の分かりやすくなるよう手立てを加えて活用している。ＩＣＴを使い，子供の興味・関心を引くことは参考になりました。  ・　黒瀬特支のＩＣＴを活用した授業づくりの探究について，本校も含めた他校でも同様の状況であると考える。ネット環境等の環境整備や研修等に力を入れていく必要があることと，もっと他校との情報共有や情報交換を積極的に実施することで広島県全体のＩＣＴ活用のレベルが上がり，教師のスキルアップにもつながると考える。  ・　沼隈特別支援学校のポスター発表「次の意欲」を育む授業が，やる気や挑戦する気持ちにつながると考えていたので，とても参考になった。  ・　聴覚障害教育専門性向上チェックリストが自分にも活用できると感じたから。  【あまり活用できない】  ・　資料だけでは分かりにくかった。（３）  ・　就労支援業務との関連が少ないため。  ・　すぐに何かを活用するというのは難しいが，各校で取り組んでいることの概要が分かった。今後，研究紀要を見たり，公開研などに参加したりするなどして，詳細を知りたいと思った。  ・　様式を統一するとよい。 |

２　令和２年度研究集録の内容は，新学習指導要領に基づく実践につながると思いますか。

（必須・単一回答）

|  |  |
| --- | --- |
| 思う | 思わない |
| 163 | ９ |

アンケート項目２の回答の理由を記入してください。（必須回答）

|  |
| --- |
| 【思う】  ・各校とも新学習指導要領のキーワードがあり，主体的な学びについて取り組み，実践報告されていると思う。（60）  ・　「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業改善の試みが随所にあったため。（39）  ・　自分のやりたい実践に近いものがあれば，ぜひ参考にさせていただきたい。（９）  ・　アクティブラーニングを実践している内容が多くあり，各校がそれぞれの幼児児童生徒の実態に合わせた指導が行えるように工夫していることが分かる。  ・　重度障害児の教育課程における教科（国語，算数・数学）を取り入れた教育課程を編入していく。  ・　卒業後の目指す児童生徒の姿を見据えて，各教科等で段階的に学習指導案や年間指導計画も策されていくと思う。  ・　ＩＣＴ機器の実践例や，児童生徒への評価や主体性の育成など学べることが多いため。  ・　子供たち自身が考え，判断したり話し合ったりすることができるような実践事例が多く紹介されていたため。  ・　昨年度の振り返りを行って，それを継続又は修正できるから。  ・　カリキュラム・マネジメントに関する内容が多かった。  ・　他校の実践は参考になる。（２）  ・　障害種に応じた実践内容が豊富であるため。  ・　ＩＣＴ活用や，アクティブラーニング，カリキュラムマネジメント等に関わる発表があったから。  ・　専門性に基づいた授業づくり，主体的な学び，ＩＣＴ活用について取り上げている内容が多かったから。（２）  ・　ＩＣＴ機器の活用等についての研究がたくさん行われている。（２）  ・　主体的対話的な学びのためのＩＣＴ活用が盛り込まれていたから。  ・　多くの発表・報告において，カリキュラム・マネジメントの視点を踏まえた実践がなされているため。  ・　児童生徒が受け身ではなく，自ら課題に取り組めるように考えられていたから。  ・　広島特別支援学校の「カリキュラム・マネジメントの検討委員会年間計画」など,計画的に長期的な視点で考えられているもの等あったから。  ・　各校の最新の取組が掲載されているため。  ・　「主体的・対話的・深い学び」に関する実践や，カリキュラム・マネジメントについての実践が紹介されていたため。  ・　各校創意工夫を凝らして研究に取り組み，内容の濃い実践だった。（２）  ・　目的は同じでも，学校ごとに色々な角度から研究を進めているので，お互いが参考にすることでよりよい実践へとつながると思います。  ・　どの研究も児童生徒の興味を引き出そうとしている内容であったり，変化，子どもの伸びなどの言葉がたくさん使用されたりしていたから。  ・　コロナ禍で，新学習指導要領だけに関わらず，新しい情報に触れ，素早く取り入れる必要があるため。  ・　「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力，人間性など」の３観点。  ・　主体的，対話的で深い学びに対するアプローチや，カリキュラム・マネジメント，資質・能力の育成など学習指導要領に示された内容を各学校の立場から明らかにしようと研究されていることが伝わったから。  ・　それぞれの研究が，ＩＣＴを利用したり，社会参加を目的にしたり，小・中・高一貫性を意識した取組であるから。  ・　小中高の一貫性のある教育活動につなげていくことと教師が興味をもたせるように生徒が使いやすいＩＣＴの活用研究があるのでつなげていけるのではないかと思う。  ・　児童の言動や変容を分析し子供の内面まで理解を深め，実践することで，新学習指導要領の三つの柱の評価に繋がると思います。  ・　研究する真摯な姿勢に自分も丁寧に実践したいという意欲をもつことができた。  ・　求められている「学びの変革」アクション・プランにつながるいい実践だと考えたから。  ・　目指す資質・能力の三つの柱に沿って研究されていたと感じたから。  ・　各校の発表が自校の研究で不足していた視点や考え方に気付かせてくれ，参考になった。  ・　様々な実践を知れて参考になった。  ・　自立活動と教科の学習の取り扱いについて再考している発表があったから。  ・　「広島版　学びの変革アクション・プラン」にのっとった研究成果であると考えるため。  ・　指導のための方法が多ければ多いほど，教師の指導の選択肢が増えるので，自分が実践する際に有用だと思います。  ・　日々変化する生徒実態を見て，研究した成果をまとめた内容であるため，今後の教育活動の柱となる新学習指導要領に基づく実践に必然的につながると考える。  ・　新学習指導要領における総則の中の，「児童又は生徒に生きる力を育むことを目指す。」という一文に当てはまる内容の研究やポスター発表があったと思ったから。  【思わない】  ・　新学習指導要領の内容を理解していないため。（５）  ・　「新学習指導要領」についての講演があり，そのスライドが冊子にあればより良い。  ・　よくわからなかった。（２）  ・　資料だけだとイメージが湧きづらいため。 |

３　今後の研究大会の方法は，次のどの方法がよいと思いますか。（必須・単一回答）

|  |  |
| --- | --- |
| 例年どおり研究大会を実施 | 20 |
| 研究大会を少人数で実施し，動画（ライブ）配信 | 27 |
| 事務局校から動画（ライブ）配信 | 15 |
| 各校で事前収録した動画を，期日を決めて配信 | 47 |
| 研究集録を作成，配付 | 63 |

４　今後どのような内容の研究発表を期待しますか。また，どのような研究を行いたいですか。（必須回答）

|  |
| --- |
| ・　小人数で実施し，動画配信して，みんなが空いている時間を活用して見られるようにする。  ・　カリキュラム・マネジメントに係る発表。（７）  ・　ＩＣＴ関係の実践について研究発表してほしい。（27）  ・　ＧＩＧＡスクール構想に係る各校の取組。（５）  ・　各校の実践事例を多く知りたい。（３）  ・ＩＣＴを活用した反転授業等の実践。  ・　個別最適な学びについて。  ・　社会とつながる教育内容を作るためにどのような連携や構想をして，実現にこぎつけているか。そのノウハウを聞きたいです。やり方が分かれば，全県で進めていけると思うから。  ・　障害種毎の教育課程についての研究。  ・　研究テーマに沿った取組や，学校独自の取組をもっと知りたいです。また，学習評価について知りたいです。  ・　更にレベルアップしたＩＳＴ活用をすることで児童生徒の主体性を引き出す。  ・　レジリエンスを高めるための指導の工夫について。  ・　ＩＣＴの活用に偏らないものを期待します。  ・　教材・教具の工夫。  ・　教科学習に関する研究発表。  ・　ポスター発表などコンパクトにまとめてあるものが分かりやすいと思います。  ・　各学校の実態に応じた，必要性のある研究発表を期待します。  ・　来年度は，研究集録録を作成，配布もしくは，動画配信をしていただきたい。理由は，感染症が怖いから。  ・　学校からライブ動画での研究発表の配信。  ・　コロナ禍でできる内容。  ・　知的障害教育のカリキュラムに関すること。  ・　特別支援学校の地域交流，短期児童への指導や配慮など。  ・　知的障害教育における対話的な授業づくりについて。  ・　いろんな職種の人が参加しても分かりやすい研究会。  ・　様々な実態の児童生徒を対象とした実践や支援について知りたいです。  ・　業務改善を意識し，各校で取り組まれているものを活用する。  ・　あてはめ作業にならない研究。  ・　日々の授業改善にちょっと取り入れてみられるものがあると，自分でやってみることができる。  ・　教員の実態や授業力に見合った研究。  ・　現場の教諭が研究成果を読みたい，研究成果を読んで助かった，と思えるような研究テーマを設定する。例えば，来年度であればＰＣの効果的な活用方法などを全校で統一して行うなど。  ・　就労意欲を高めるための取組。  ・　子供たちが自ら考えて取り組めるような内容。  ・　各校の特色ある取組を共有したい。例えば，社会に開かれた教育課程の編成に対する各校の取組等。  ・　学習評価に関する研究やメタ認知に関する研究に興味があります。  ・　日々の教育活動にすぐに生かせるもの。  ・　新学習指導要領に関わる具体的な指導について。（２）  ・　自立活動を主とした教育課程における合わせた指導の実践発表など。  ・　言語活動の充実と主体的・対話的で深い学びの育成について。  ・　児童生徒の姿（事実）から，その時の子供の思考（内面）を推察することを通じて，教師の「子供の見方」を豊かにし，「子供を見る力」を高めるという研究目的で実践されてきた三原特別支援学校の研究発表を期待します。  ・　具体的で，分かりやすい実践発表，研究。  ・　オンライン又はオンデマンドでの公開授業を基にした研究。  ・　新型コロナ感染症等，まだ交流が限られている中，教育現場の中でどのようにして生徒の社会性を引き出していくかなどの研究に期待があります。  ・　障害者と健常者の共育・共生について。  ・　各校の実態にあった個性的な発表。  ・　重複障害児の教科の導入や活用について。  ・　知的障害のある幼児児童生徒の思考力を高め，表現できる力を育てる指導の在り方。  ・　各校の特色を生かした研究や実践報告が交流できることを望みます。  ・　研究を進める者でなく，環境を整える業務をしているため，具体の研究内容は示せません。  ・　教員間の連携についての研究発表を期待する。  ・　現在のまとめ方がとても参考になっている。  ・　学習評価の研究。  ・　特定の教科の授業づくりについて発表を期待する。  ・　即実践につながるような研究発表。（７）  ・　たくさん興味深い研究をしておられるので，取り組んでいる様子や課題など写真等があればより分かりやすいです。  ・　様々な教科の授業改善など。  ・　授業力の向上につながるような内容。  ・　特別なことではなく，日々の実践に焦点を当てて，今やっていることをきちんと評価し，系統的に継続的に取り組むことができるような研究を行いたい。  ・　キャリア発達を支援する研究。  ・　児童生徒が積極的に活動できるための研究など。  ・　ＳＤＧｓに係る研究発表。  ・　音楽科や体育科について。  ・　深い学びから汎化へ向けた取組など。  ・　知的障害の教科教育における系統性に関する指標・評価についての研究。  ・　教科指導について，知的障害のある児童生徒に対する自立活動について。  ・　主体的・対話的で深い学びの視点での授業改善。  ・　学習評価に焦点を当てた授業改善。  ・　分からない。  ・　評価の内容及び効果的な方法。  ・　このままでよいと思います。数年間継続して研究することで見えてくるものがあると思います。  ・　大会日を設け，動画配信などを行い，様々な学校の研究に触れる機会がほしい。  ・　広島県の特別支援学校全体が参加するのであれば，今の方法でよいかと思います。  ・　子供の意欲を高め，児童生徒の「なんでだろう」や「知りたい」といった気持ちが引き出せるような授業づくり。  ・　学習の汎化を目指した日々の実践記録。  ・　障害種による，近隣複数校による共同研究の発表。研究発表にとどまらず，参加者による対話や議論を行うことで，さらに深い学びにつながるのではないか。  ・　現在の生徒に即した実践的な研究。すぐに活用できる内容。  ・　各地域の実情を踏まえてどのような学校にしようとしているか，どのような教育を求められているかが分かる内容を期待している。  ・　各学校の生活単元学習の取組について知りたいです。  ・　主体的・対話的で深い学びを推進する研究。  ・　これまで会場への行き帰りが大変だったので，今年度のような形式がありがたい。  ・　両方を兼ねるが，資質・能力の育成について，各教科での取組や教科横断的な視点を基にアプローチする研究。  ・　長期研修をされた方の発表もいいですが，中央研修や特総研を受けられた方の発表も聞いてみたいです。  ・　重度重複障害教育の充実に向けて。  ・　各学校の授業実践に基づく研究。（４）  ・　特別支援学校においてのビジョントレーニング的な研究。集中力や，注視する力の弱い生徒に対して，どのような指導が集中力を養い，注視し物事を捉える力を付けていけるかの研究でしょうか。  ・　教員としては１年目の私は，どんなことでも面白く，学びの多い研究発表です。心と身体が急激に変化する生徒と関わる中で性に対する学びは私自身の課題だと思いました。心の変化，体の成長，性に関する研究発表に期待します。  ・　今後も実践報告を期待します。  ・　ＩＣＴを活用した授業づくり。実態に合わせたＩＣＴの活用アイデアや実践研究。  ・　様々な障害や実態の児童生徒への指導とその根拠やその経過について  ・　研究集録を作成，配付で良いと思う。  ・　コロナ禍でできる内容の研究。  ・　主体的な学びについての授業実践。  ・　児童生徒に分かりやすい学習評価の在り方。  ・　職員の教育研究体制事例。  ・　日常生活の指導の具体的な例。  ・　研究テーマを定めた授業実践の報告。  ・　動画でなく，生の授業が見てみたい。  ・　子供がワクワクする授業。  ・　幼児児童生徒が成功体験を経験して自信をもって活動できるためには，どのような授業展開をするべきか，また教材・教具はどのようなものを使うと意欲的に自主的に取り組めるか。  ・　様々な実態に応じた三つの資質・能力の育成の仕方。  ・　アセスメント，実態把握。  ・　学級単位で授業研究し，学習評価の在り方を学級で検討する。  ・　子供を見とる力を高めるための具体的な取組を知りたいです。  ・　児童生徒の自立に向けて。  ・　小学部に所属しているので，もっと小学生の段階の実践例を知りたいです。  ・　児童生徒と共に学びあう教職員の人材育成。  ・　働き方改革を伴った研究。  ・　これまでどおり児童生徒の成長を１番に考えた研究。  ・　難しいことかもしれませんが，県内の学校に同じテーマで研究を進めていただければ，統一した研究ができるのではないでしょうか。  ・　内容は決まっていませんが，日頃の指導に生かせるものを期待しています。  ・　今回のような研究収録の作成・配付による発表も，働き方改革を求められる中にあっては有意義だと感じました。  ・　これまでのように，各校の打ち出している特色や工夫を感じられる発表内容であれば良いと思う。  ・　生徒の力がつくような学習評価方法について知りたい。  ・　系統性のある教科指導について。  ・　生徒の主体的な学びを促すための実践事例。  ・　効果的な授業計画。  ・　各学校の実態やそれを踏まえた学校の指導の手立てなど，全体で共有して実施している内容を知りたいです。  ・　各校の取組や個々の研修の相互連携と高め合い，広島県の特別支援教育が良くなればと思います。  ・　発達や学力差の大きい準ずる教育の在り方について聞いてみたいです。 |

５　その他，御意見，御感想等を御記入ください。（任意回答）

|  |
| --- |
| ・　感染予防と，時間を適正に短縮して実施してほしい。  ・　新型コロナウイルス感染症対策等ある中，研究集録ありがとうございました。（20）  ・　冊子のみでは伝わりにくいと思いましたが，文面としては今後の授業づくり等に役立てることができると思った。今後は動画等も取り入れつつ，冊子も継続して発行していっていただけるとありがたいと思う。  ・　外部講師による講演の時間が長いため，時間を短くしほしい。  ・　事務局校から動画（ライブ配信）と回答：期日があるものだと，参加しやすい。  ・　研究会の企画・実践・研究集録の作成等，お疲れ様でした。  ・　それぞれの実践内容は大変参考になりました。もう少し詳しい中身が分かればありがたいです。  ・　毎年，たくさんのことを学ばせてもらっています。ありがとうございます。  ・　今年も大変参考になる取組の数々の共有をありがとうございました。  ・　研究会の中止を早期に決断したのは適切だったと思います。  ・　研究集録は必要と思います。  ・　研究を見て，いつも勉強になるな，そんな考えがあるんだ，取り入れてみようと参考にさせていただいています。これからもたくさんの先生方の素晴らしいところをしっかり見て，盗んで教師として大きく成長したいと感じています。  ・　どれも短期間の研究で積み上がりに欠ける。  ・　特別支援教育の幅の広さを改めて感じた。  ・　コロナがすぐには落ち着かないことを想定して，大人数での開催は回避して欲しい。教員が感染すると児童生徒への感染は少人数に留まらないことが明らか。重度重複障害の児童生徒に接触することも多いので，常に気を付けて行動している。  ・　コロナ禍において，大会が開催されなかったことは残念であった。事務局は，予定変更が多くて大変だったのではないでしょうか。  ・　書式(スライドなのか文章なのか)の統一は行った方が研究資料として読みやすいと思います。（２）  ・　研究集録を読ませていただいて，とても勉強になりました。各学校のサイトにアクセスして，自分たちの指導に生かしていきます。  ・　研究集録を拝見して，各学校の取組を研修することができました。  ・　各校とも熱心に取り組んでいる。貴重な研究をありがとうございました。  ・　今回の研究集録を日々の実践に役立てるようにしていきたい。  ・　動画撮影になった際には，また，各学校のＩＣＴ担当者への業務の負担が考えられる。動画配信や撮影となった際には，誰でもできるような手順書や方法を示していただくと助かります。  ・　ＩＣＴ機器教育を広めるには，今がチャンスである考える。しかし，それに偏ると児童生徒の混乱や，実施する教師の精神的負担があっては意味が無いため，状況に応じて対応していかなくてはいけない。そのためにも，他校との情報共有とまずは教師の興味関心を引き出せる研究会であってほしい。 |